



Savings Plansでコスト最適化

Savings Plans (SP)はAmazon EC2、AWS FargateとAWS Lambdaに適用できる柔軟性の高い割引オプションです。Savings PlansはEC2リザーブドインスタンスと同等の最大72%の割引に加え、さらなる柔軟性を提供します。

Savings Plansとは

Amazon EC2 や AWS Fargate、AWS Lambda の使用料を節約できる、柔軟で新しい料金モデルです。1年間または3年間にわたって一定の使用量(例えば、\$10/時間)にコミットするだけで、その使用量に対して割引が適用されます。Compute Savings Plansと、EC2 Instance Savings Plansの2種類のSavings Plansを用意しています。

仕組み

EC2インスタンスなどのコンピューティングの使用には、オンデマンド料金とSavings Plans料金が設定されています。もし\$10/時間コミットした場合は、1時間当たり\$10まではEC2インスタンスなどをSavings Plans料金で利用できます。コミットを超えた利用についてはオンデマンド料金で課金されます。

2種類のSavings Plansの比較

| Compute Savings Plans | EC2 Instance Savings Plans |
|--|---|
| 最も優れた柔軟性を提供し、コンバーティブルRIと同等の最大66%の割引 | 料金が最も低く、リージョン内の個々のインスタンスファミリーの契約(例:東京リージョンでM5の使用)と引き換えに、スタンダードRIと同等の最大72%の割引 |
| 以下の柔軟性があり、契約期間中に稼働インスタンスに変更があっても割引の適用が継続されます | 以下の柔軟性があり、契約期間中に稼働インスタンスに変更があっても割引の適用が継続されます |
| <p>インスタンスファミリー: 稼働インスタンスをC5からM5に変更しても適用されます</p> <p>OS: 稼働インスタンスのOSを変更しても適用されます</p> <p>テナンシー: 稼働インスタンスのテナンシーを共有から専有に変更しても適用されます</p> <p>リージョン: 稼働インスタンスの利用リージョンを東京からシンガポールに変更しても適用されます</p> <p>サービス: 使用するコンピューティングサービスをAmazon EC2からAWS Fargateに変更しても適用されます。</p> | <p>テナンシー: 稼働インスタンスのテナンシーを共有から専有に変更しても適用されます。</p> <p>インスタンスファミリー、リージョン、サービスについては指定する必要があります。稼働インスタンスのこれらのオプションを変更すると割引は適用されません</p> |
| 支払いオプション 全額前払い / 一部前払い / 前払いなし | 支払いオプション 全額前払い / 一部前払い / 前払いなし |

このコンテンツは公開から3年以上経過しており内容が古い可能性があります。最新情報については[サービス別資料](#)もしくはサービスのドキュメントをご確認ください。

Savings PlansとRIの比較

| | Compute SP 最大66%割引 | EC2 Instance SP 最大72%割引 | Convertible RI* 最大66%割引 | Standard RI 最大72%割引 |
|---------------------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------|
| いずれのインスタンスファミリーにも自動的に適用 | ○ | × | × | × |
| いずれのインスタンスサイズにも自動的に適用 | ○ | ○ | ×** | ×** |
| いずれのOSにも自動的に適用 | ○ | ○ | × | × |
| いずれのテナンシーにも自動的に適用 | ○ | ○ | × | × |
| いずれのリージョンにも自動的に適用 | ○ | × | × | × |
| AWS Fargate, AWS Lambdaにも自動的に適用 | ○ | × | × | × |
| コミットの方法 | 金額でコミット | | 使用するインスタンスの条件指定でコミット | |

*コンバーティブルRIはインスタンスファミリー、サイズ、OSやテナンシーが異なるRIに交換することができますが、コンソールからの手続きが必要です。また交換先インスタンスとの差額のお支払いが必要になる場合があります。

**リージョン指定のコンバーティブルRIと、リージョン指定のスタンダードRIは、OSがLinuxで共有テナンシーの場合に限り、サイズの柔軟性を有しています。